飯南町社会福祉協議会

社協だより

ありがとう

5月号　2024 Vol.91

◆４月、来島保育所に届いた木の机。
あすなろ基金協会様のご寄付で作りました。
（４ページに関連記事）

〒690-3401　島根県飯石郡飯南町野萱 1826-2
社会福祉法人　飯南町社会福祉協議会
TEL：0854-76-2170　FAX：0854-76-2086
E-mail：i-shakyo@iinanshakyo.com
URL：https://www.iinanshakyo.com/

能登半島地震　能登町災害ボランティアセンターへの職員派遣報告

3/31～4/5 飯南町社協職員1名を石川県能登町へ災害ボランティアセンターの運営支援に派遣しました。

災害ボランティアセンターとは

災害ボランティアセンターは、被災された方のニーズ(「片付けを手伝ってほしい」などの要望)の把握や災害ボランティアの受け入れ・調整、ボランティア関連情報の提供、行政・地域と連携した支援活動を行う組織です。多くの自治体では、行政が災害対策本部・指定避難所の設置を、社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを設置・運営します。

1995年1月に起きた「阪神・淡路大震災」では、過去に例のない多くのボランティアが活動されたことで1995年を「ボランティア元年」と呼んでいます。

◈現在は、災害の規模に応じて、下図のようにボランティア募集の範囲が決められます。

小 ← 災害の規模 → 大

①近隣の助け合い	②町域の住民・関係団体の支援	③県内の市町村の住民等へ呼びかけ	④都道府県を超えた支援の呼びかけ

◇近年は、ホームページへ災害ボランティアの募集状況やボランティア登録を行っている自治体が増えています。

派遣職員より　能登町に思いを巡らせて…

地域福祉課 主任 田中 綾野

３月末から１週間、全国社会福祉協議会からの派遣要請を受け能登町の支援に行きました。能登町では災害ボランティアセンター柳田サテライトの運営を任され、被災された能登町の皆さん、ボランティアに参加された方々、被災地社協や他市町村の社協職員等とのたくさんの出会いがありました。

１月１日の発災から今もなお避難所での生活を余儀なくされている方、倒壊家屋の片付け、使えなくなった家財道具の運びだしなど、日常生活を取り戻すにはまだまだ時間が必要だと感じました。自分達だけではどうにもできない状況の中、ボランティアさんの協力はとても心強く、感謝しかありません。

現地に出かけ住民の方とお話をしましたが、想像を超えた被害の状況を目の当たりにし、かける言葉も見つからず、「大変だと思いますがおケガがなくて何よりです。」「ボランティアさんにお願いできることもありますので、相談したり、周りで困っている方にもお伝えください。」と伝え帰りました。

職場に戻り私の日常は再開しましたが、被災地では非日常の暮らしが続いていることと思います。住民の皆さん、ボランティアの方々、様々な専門職の方が日常生活の再開、復興に向けて今も活動を続けられているのだと思いを巡らすばかりです。

献血のお知らせ

５月２７日（月）

ご協力をよろしくお願いします。

会場／飯南町役場　9:30～12:00
中山間地域研究センター　13:30～14:30
来島保健センター　15:30～17:00

※社協だより５月号は、日赤会費の一部を使わせていただいております。

5月は日本赤十字運動月間です

■日本赤十字社飯南町分区

皆さまのご協力（日赤会費・寄付金）のおかげで、日本赤十字社は、大切な“いのち”を救う活動をつづけていくことができます。日ごろのご支援に心より感謝申し上げます。

そして、これからもひとりでも多くの“いのち”を救うため、赤十字活動資金にご協力をお願いいたします。

日赤会費・寄付金

◆前年度の実績　会　費：1,447 件 1,015,500 円
寄付金：　6件　16,906 円

会　費：世帯あたり 700 円以上　（島根県内統一）
募金箱：こぶし薬局様・あじさい薬局様・社協の窓口に設置
※会費や寄付金は全額日赤島根県支部に送ります。

日赤島根県支部の主な活動

■災害救護活動と防災・減災の普及
能登半島地震では、職員等の派遣（救護班・日赤災害医療コーディネートチーム・赤十字ボランティア）や救援物資の配布を行っています。
■救急法・幼児安全法等を普及する活動
■青少年赤十字活動とボランティア育成
■海外での救援活動（紛争・自然災害での被災地支援等）

飯南町社会福祉協議会　社協会費納入のお願い

飯南町社協は、「一人ひとりのつながりを大切にし、誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり」を基本理念とし、飯南町にお住まいの皆さんにご支援をいただきながら地域福祉活動を推進しています。この地域福祉活動を推進するための財源として、社協会費・共同募金・寄付金を活用しています。特に社協会費は貴重な財源となっており、地域福祉課が行う地域福祉活動事業などに役立てられています。本年度も引き続きご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

令和６年度 社協会費の使いみち

◆地域福祉推進事業　2,136,000 円
・小地域福祉活動事業、いきいきサロン事業、福祉教育など
◆総合相談事業　264,000 円
・法律相談やこもれび相談など
◆事業運営のための費用　157,000 円

会費の内訳

◆住民会費：1 世帯あたり 1,500 円
◆賛助会費：1,500 円（住民会費に上乗せ）
・飯南町社協を特に支援していただいている方
◆団体会費：5,000 円以上
・飯南町社協をご支援いただいている町内の企業団体
～団体会費に新しくご協力いただける企業団体様は、ご連絡をお待ちしています～
◆前年度の実績額 2,523,000 円

【内訳】○住民会費：　2,172,000 円（1,448 世帯）
○賛助会費：　126,000 円（84 件）
○団体会費：　225,000 円（45 の企業団体）

青少年赤十字活動について

-飯南高校-
JRC 部を紹介するよ

青少年赤十字(JRC:Junior Red Cross)

◆青少年赤十字（JRC）は、子どもたちの『思いやりの心』を育む学校教育を応援する日本赤十字社の活動の一つで、島根県内で 258 校の学校（園）で取り組まれています。

◆異文化交流活動

◆手話学習

◆飯南病院応援メッセージ贈呈

1．JRC 部の主な活動内容

・すこやかクラブ交流活動
・異文化交流活動（飯南町、出雲市）
・募金活動
・清掃ボランティア
・飯南病院応援メッセージ贈呈
・手話学習
・認知症サポーター講座受講
・花の苗植え　など

2．JRC 部からのメッセージ

私たちは、「気づき、考え、行動する」を合言葉に、自分たちで考え主体的に活動することを心がけて毎年さまざまなことに取り組んでいます。

昨年度も地域の小学生や高齢者の方、飯南町や出雲市在住の外国人の方と交流をしました。また、学園祭で全校生徒に呼びかけ、飯南病院に入院しておられる患者さんと医療従事者の方への応援メッセージを書いてもらい、壁画風にしたものを病院へ寄贈しました。

これからも、身近なところで、私たちができることを考え実行していきたいです。

寄贈していただきました

フードバンクへ

食品：浄土真宗本願寺派飯南組様
カルピス:JA しまねふれあい福祉課様
お米：JA しまね女性部様

ありがとうございました。

◆JA しまね女性部様

表紙紹介

未来を担う子どもたちへ

今回、あすなろ基金協会様（代表：大森民雄様）より、町内４つの保育所にご寄付をしていただき、地元の大工さんに木の机を作ってもらいました。机を置くと、すぐに集まってくれた園児たち。わくわくしながら絵本を広げ、読んでいました。

◆２つの机を併せると六角形に。